

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」参加者の受付開始
 - ② 青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム
 - ③ 青少年育成事業団「進路相談会」最終案内
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室「ひきこもりの理解」
 - ② ぐんまの家庭教育応援フォーラム
 - ③ シングルマザー、シングルファーザーのためのハッピーライフセミナー
 - ④ ひきこもり支援「CRAFTを応用した家族支援の基本と実際」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① NPO法人 Gコミュニティ (伊勢崎)

1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」参加者の受付開始

研修会テーマは「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」です。

思春期・青年期特有のさまざまな要因から不登校になり、中学卒業後、高校中退後に学校を離れた後もひきこもり状態が続いている若者がいます。

本人が自分の進む道を見つけて新たな一歩を踏み出して行けるよう、家族を含めた当事者の気持ちに寄り添った支援が求められています。

【研修会】

日時 12月17日(月) 13:00～16:10
会場 県公社総合ビル ホール(前橋市大渡町1-10-7)
(注) 昨年度とは会場が異なります

内容

- (1) 事例報告(それぞれの現場からの報告)
ひきこもり経験者、経験者の親、学校、行政機関の4名
- (2) パネルディスカッション
コーディネーター 石川京子氏(NPO法人リソーシブ理事長)
パネリスト 鈴木基司氏(みどりクリニック 院長)
他 事例報告者

定員 300人(申込みは12/3まで、先着順)

詳細は、添付資料をご覧ください。

2 青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム

モバイル端末の普及により、青少年のインターネット利用環境が急激に変化していることから、国、地方公共団体、民間団体が連携して全国3カ所(群馬県含む)でフォーラムを開催しています。

【フォーラム】

日時 11月1日(木) 10:00～16:00
会場 県公社総合ビル ホール(前橋市大渡町1-10-7)
内容

- (1) 午前の部(講演)
演題「青少年のインターネット利用環境づくりにおける地域連携体制の構築ー秋田県における事例を中心にー」
講師 坂元章氏(お茶の水女子大学教授)
- (2) 午後の部(パネルディスカッション)
演題「関係機関(警察、学校、保護者、事業者等)が抱える課題」

★メルマガ原稿_vol. 23. txt
コーディネーター 飯塚秀伯（ぐんま子どもセーフネット
活動委員会理事長）
定員 250人（先着順）

詳細は、内閣府のHPをご覧ください。

http://www8.cao.go.jp/youth/kankyuu/internet_use/h30/forum/index.html

3 10/28 青少年育成事業団「進路相談会」最終案内

群馬県青少年育成事業団では、将来のことで悩んでいる若者のための「進路相談会」（無料）を開催しています。
今月は高崎会場で、今年度の最終開催となります。

高崎会場（高崎市教育センター） 10月28日（日）13:30～

<相談内容例>

- ☆高校を中退してしまった。どうしたらいい？
- ☆不登校やひきこもり等から抜け出したい
- ☆わが子なのに、どう接してよいかわからない
- ☆通信制高校、単位制高校等のことについて知りたい

などの相談に応じます。詳細は次をご覧ください。

http://www.gyc.or.jp/kaikan5/zigyuu%20annai/g-sky/index_g-sky.html

4 10/25 ひきこもり家族教室「ひきこもりの理解」

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に、家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、皆さんの気持ちのゆとりを持っていただきます。

【家族教室】

日時 10月25日（木）13:30～16:00

内容 ひきこもりの理解

県こころの健康センター 医師 大舘実穂氏

会場 県こころの健康センター 会議室（前橋市野中町368）

連絡先 ひきこもり支援センター

専用ダイヤル 027-287-1121

詳細は、添付ファイルをご覧ください。

5 11/17 ぐんまの家庭教育応援フォーラム

県教育委員会では、家庭教育支援関係団体の連携促進に向けて、支援実践者の講演や地域で活動する支援チームの取組などを参考にしながら家庭教育支援の具体的な取組を考えるフォーラムを開催します。

【フォーラム】

日時 11月17日（土）13:00～16:20

会場 県生涯学習センター多目的ホール（前橋市文京町2-2-22）

内容

(1) 基調講演

演題「つながりを創る豊かな家庭教育 ～“ゆるいつながり”

で支える家庭・学校・地域の協働～（仮題）」

講師 岡島美智子氏（県生涯学習センター館長）

(2) パネルディスカッション

テーマ「“ゆるいつながり”による家庭教育支援の在り方」

パネリスト 家庭教育支援チーム（前橋・みどり）他

コーディネーター 県教委生涯学習課

(3) ポスターセッション

テーマ「私たちの活動紹介～“ゆるいつながり”をめざして～」

ページ(2)

詳細は、県生涯学習センターHPをご覧ください

<http://genki365.net/gnkg01/pub/sheet.php?id=398702>

6 11/18 シングルマザー、シングルファーザーのためのハッピーライフプランセミナー

社会福祉法人「みどの福祉会」（高崎市新町）では、県母子寡婦福祉協議会と共催でひとり親向けのセミナーを開催します。

ひとり親の悩みことの第1位は「家計」で、次に「子育て」「相談場所」等です。同じ立場の人と出会いたいという声もあります。一緒にライフプランを考えてみませんか。

【セミナー】

日時 11月18日（日）14:00～16:30

会場 ぐんま男女共同参画センター（前橋市大手町1-13-12）

*駐車場は県民駐車場（県庁）をご利用ください

対象 ひとり親家庭、子育て中の保護者、関心のある方

講師 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長 赤石千衣子氏

その他 託児あり 無料（未就学児のみ）

みんなのカフェ開催

申込み・問合せ先

社会福祉法人 みどの福祉会（担当：丸茂）

TEL 0274-42-0111（新町デパートビル直通）

メール day@midono.jp

（名前・住所・電話／託児希望者は子どもの年齢）

一般財団法人 群馬県母子寡婦福祉協議会

TEL 027-255-6636

7 11/18 ひきこもり支援「CRAFTを応用した家族支援の基本と実際」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」では、ひきこもり支援講演会を開催します。

【ひきこもり支援講演会】

日時：11月18日（日）13:30～16:30

場所：県庁昭和庁舎 35会議室

講演会：「CRAFTを応用した家族支援の基本と実際 ～パート2～」

対象：ひきこもり家族、および関係者

講師：野中 俊介 氏

東京未来大学こども心理学部講師 臨床心理士

「CRAFT ひきこもりの家族支援ワークブック」共著者

後半に、講師との交流時間も予定しています

申込み、お問い合わせは下記電話までご連絡をお願い致します。

KHJ群馬はるかぜの会 080-9373-4760

KHJ全国ひきこもり家族会連合会動の詳細はHPをご覧ください。

<http://www.khj-h.com>

8 民間活動団体等の紹介 NPO法人「Gコミュニティ」（伊勢崎）

伊勢崎市など外国人集住地域では、外国人の子どもが多い小中学校に日本語教室があります。授業についていくのが難しい教科の時間は、日本語教室に来て日本語や教科を学んでいます。

Gコミュニティでは、県委託事業として①伊勢崎市内の一部の中学校及び太田市内の一部の県立高校などで、日本語・教科学習支援、②ネイティブによる母国語（ポルトガル語、スペイン語、日本語）での心理カウンセリング、③多言語による外国人の子どもとの教育相談（日本語学習、進学、教育資金など）、④保護者などを対象としたメンタルヘルス講

★メルマガ原稿_vol.23.txt

習などの活動に取り組んでいます。

活動の詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/gcommunity2018/>

<https://jp-ed-gcommunity.jimdo.com>

*別団体、子ども日本語教室「未来塾」の活動は次回以降に紹介します。



次号は、平成30年11月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

▼	事務局	群馬県前橋市大手町1-1-1	子育て・青少年課内
▼	TEL	027-226-2393	
▼	FAX	027-226-2100	
▼	e-mail	kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp	
▼	HP	http://smilelife.pref.gunma.jp	

「県・市町村青少年相談担当職員研修会」実施要項

1 目的

県子ども・若者支援協議会では、「第2期 群馬県子ども・若者計画」（平成30～31年度）推進の一環として、社会生活や学校生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者やその家族が、少しでも早く適切な相談・支援が受けられるようにするため、身近な地域や学校で青少年の相談・支援に携わる職員らを対象に、子ども・若者の相談・支援についての知識や技法、他機関との連携による支援について理解を深めることを目的に研修会を実施する。

特に、重点テーマとして「高校中途退学者等の支援」を継続的に取り上げ、「不登校・ひきこもり」支援から社会的な自立に向けた「再学習」や「就労」の支援まで、関係者による取組事例や相談・支援に役立つ情報を提供しながら、関係機関等による切れ目ない支援の実現に向けた連携を促進するとともに、参加者を通して子ども・若者支援に関する情報が県域に広がるようにする。

2 テーマ・ねらい

(1) 研修会のテーマ

「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」

(2) 設定のねらい

高校中途退学者、中学校卒業後進路未決定者の多くは、思春期・青年期特有のさまざまな要因から不登校となり、学校を離れた後もひきこもり状態が続いている者が少なくない。

このため、本人が「不登校・ひきこもり状態」から自分の進む道を見つけて新たな一歩を踏み出して行けるよう、家族を含めた当事者の気持ちに寄り添った支援が求められている。

今回は、支援者として「不登校・ひきこもり状態」の理解と支援の在り方を考えていく。

3 日時 平成30年12月17日（月）13：00～16：10（開場 12:30）

4 会場 群馬県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町1-10-7 TEL 027-255-1166） （公社総合ビルの駐車場をご利用ください）

5 内容

(1) 開会行事（13:00～13:10）

主催者あいさつ、事務連絡

(2) 事例報告（13:10～14:30）

① 学校現場からの報告「不登校・ひきこもり 本校の取組みと課題」

県立長野原高校 養護教諭 高平 智加子 氏

② 経験者からの報告「不登校・ひきこもり 私の場合」

NPO法人 ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」理事長 佐藤 真人氏

- ③ 経験者の親の報告「我が子の不登校・ひきこもり 親の立場から」
不登校と向き合う親の会 さくらんぼの実る頃 代表 湯浅 やよい氏
- ④ 行政機関からの報告「精神保健福祉センターの取組み」
群馬県こころの健康センター 技師長 大館 実穂氏

<休憩 15分間>

(3) パネルディスカッション(14:45~16:00)

- テーマ 「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」
- コーディネーター・パネリスト
 - ・コーディネーター 臨床心理士 石川 京子氏 (NPOリンケージ 理事長)
 - ・パネリスト
 - 不登校・ひきこもり経験者 佐藤 真人氏 (アリスの広場)
 - 不登校・ひきこもり経験者の親 湯浅やよい氏 (さくらんぼの実る頃)
 - 学校における支援者 高平 智加子氏 (長野原高校養護教諭)
 - 精神保健福祉センターの医師 大館 実穂氏 (こころの健康センター)
 - 関係する医療機関の医師 鈴木 基司氏 (みどりクリニック院長)

(4) アンケート記入・閉会行事 (16:00~16:10)

6 対象者 300人 (定員)

- ・公立・私立中学・高等学校の生徒指導担当教諭及び教育相談担当教諭、養護教諭
- ・県・市町村の青少年支援相談担当者、各教育事務所青少年相談担当者
- ・県・市町村相談窓口担当者、民生・児童委員
- ・民間の支援活動団体 他希望者 など

7 申し込み 期限は12月3日(月)まで、定員を超えた場合のみ代表者に断りの連絡をする

- 参加方法：別紙申込書をメール・FAX・郵送で下記へ申し込む(先着順)。
- 質問受付：テーマに関する意見、現在困っている問題等でのパネリストへの質問、パネルディスカッションで回答を求めたい方は、質問の要旨(様式自由)を参加申込時に提出する。
(コーディネーターと事前調整するため、質問の全てを採用・回答できない場合がある)

【申し込み・質問受付・問い合わせ先】

群馬県子ども未来部 子育て・青少年課 青少年育成係 担当 (風間・飯塚)

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

電話 027-226-2393 FAX 027-226-2100

e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

子ども・若者の相談・支援に携わる皆さんへのメッセージ（Ⅱ）

昨年の研修会では、「不登校・ひきこもり、再学習、就労を支援する」をテーマに、学校の先生方だけでなく、行政や福祉分野の方、当事者の親御さんと、さまざまな方々に集っていただきました。

三部構成のパネルディスカッション、1)「不登校・ひきこもり」対応、2)「再学習」に向けた対応、3)「就労」につなげる対応で、子どもを支える大人としてどのようなことができるか、意見交換を行いました。

私はコーディネーター役として、①子どもや家族は何に困っているのか、②一步を踏み出すことを支える支援は何か、③連携とは具体的にどのようなことか、という視点で全体を進行させていただきました。

そして、子ども・若者の相談・支援に携わる一員として、

■彼ら彼女らが『社会』との関係性の中で立ち止まり、あるいは困り果て、または、変わりたいという気持ちをとどめていること、ここに眼差しを向け、聴く耳を持っていくことが大事ではないか。

■ 私たちは、一人ひとりで子どもたちを抱え込むのではなくて、家族や学校、支援機関が役割分担をしながら連携していくことが大事ではないか。今日ここに参加された一人ひとりが、つながれるかどうかだ、と、全体をまとめさせていただきました。

(*研修会の内容は県HPでご覧になれます <http://www.pref.gunma.jp/03/bv0100029.html>)

県では、参加者のアンケート結果も踏まえて、「不登校・ひきこもり」「再学習」「就労」に関する相談・支援を研修テーマの3本柱に掲げました。そして、相談・支援現場の課題解決につながる具体的な情報を提供するために研修内容を深め、当事者を社会全体で切れ目無く支えていくための相談・支援機関の連携について考えることを決定しました。

今回のテーマ、「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」を進めるにあたっては、学校や医療現場などの関係者だけでなく、不登校・ひきこもりの経験者や経験者の親御さんにも参加していただき、ご自身の体験を語っていただくことにしました。

不登校は『日常のなかに置かれた非常口』だと述べられた方がいらっしゃいます。

それぞれの発言を通して、思春期・青年期における不登校・ひきこもり状態の理解を深めるとともに、非常口の先にある豊かな世界が子どもや若者に見えるよう、必要とされている支援の在り方について、会場の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

一人でも多くの方が参加されることを期待して、私からのメッセージとさせていただきます。

平成30年10月

NPO法人リンケージ理事長 臨床心理士 石川 京子

平成30年 月 日

子育て・青少年課長 あて

(所属機関の長)

平成30年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会」参加申込書

所 属	職	氏 名

本件に係る担当者・連絡先電話番号

所 属	
氏 名	
電 話	

※ 12月3日（月）までに、メールまたはFAXでお申込みください。
申込み受付は先着順ですが、定員を超えた場合はお断りの連絡をします。
テーマに関する意見、現在困っている問題等でパネリストへの質問、パネル
ディスカッションで回答を求めたい方は、質問の要旨（様式自由）を参加申
込時に提出してください。

（都合により、質問の全てを採用・回答できない場合があります）

問い合わせ先：子育て・青少年課
青少年育成係 担当（風間・飯塚）
電 話：027-226-2393 FAX：027-226-2100
メール：kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

平成30年度

ひきこもり家族教室のご案内

ひきこもり支援センターでは、ひきこもりに悩んでおられるご家族等を対象に、家族教室を下記のとおり開催いたします。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としましょう。

- ・申込みいただき、**個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内**しています。
- ・支援者の方、ご家族同伴でのご本人の参加もお待ちしています。
- ・見学や参加を希望される方は、**下記連絡先までご連絡下さい。**

場所： 群馬県こころの健康センター 会議室

時間： 午後1時30分～午後4時00分

連絡先： **ひきこもり支援センター**（群馬県こころの健康センター内：前橋市野中町368）

「ひきこもり専用ダイヤル」 電話：**027-287-1121**

月～金 午前9時から午後5時まで ※年末年始、祝日は除く



【家族教室に参加すると】

- ・自分だけではない安心感
- ・選択肢が広がる
- ・気持ちに余裕ができる
- ・工夫できる場所が見つかる…等
ヒントが得られる機会になります。

家族の気持ちの安定が、
本人の気持ちにも影響を
与え、本人の状態が良くなる
という研究結果があります



*** 日程表は裏面にあります ***

平成30年度ひきこもり家族教室予定表

開催日	テーマ	講師
4月26日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
5月24日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
6月28日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
7月26日(木)	講座 『言葉を使って気持ちを伝える』	・群馬大学 浅見隆康医師
8月23日(木)	講座 『自分らしく生きたい!』	・NPO法人楽の会リーラ 大橋史信ひきこもりピアサポーター
10月25日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
11月22日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
12月27日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
平成31年 2月28日(木)	DVD上映会+座談会 NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ『ひきこもりからの回復』	

* 教室は、前期（4月～6月）と後期（10月～12月）は同じ内容です。

* 講座は1回のみの内容です。

